

保健所名	議 題	発議・論点	主な意見	決定事項
一宮	1. 愛知県生活習慣病対策機能連携推進事業の取組経過等について 2. 糖尿病の合併症管理における医科・歯科連携の推進について	○事業の概要、取組経過、各市21計画について情報提供 ○各機関の取組状況についての情報交換 ○先駆的取組の紹介、啓発カード配布の提案	○糖尿病専門医には歯周病が合併症と認識されたが、一般住民や医師への周知が課題 ○医師の理解に差があるため歯科から情報があるとよい。 ○院内での教育入院パスに歯科との連携を記載したい。 ○薬剤師が知識を持つことが大事。得た知識は患者へ還元する。	○管内の糖尿病対策として、医科・歯科連携だけでなく、市の取組、薬局での情報提供、教育入院など総合的に推進していく。 ○保健所作成の啓発カードを、内科を標榜する医療機関と薬局へ配布し、糖尿病患者の歯科受診の啓発を図る。
瀬戸	歯周病対策の取り組みについて	○成人歯科検診の受診率向上への取組み状況 ○住民への歯周病の普及啓発	○妊産婦歯科健診について産科医療機関からも受診を勧めている。	○管内で時期を決め、普及啓発をしていく。
春日井	春日井地区における糖尿病と歯周病に関する地域連携について	○糖尿病連携手帳を活用した医療連携の経過と現状の共有、今後の展開の検討 ○特定健診との連携を図るための検討	○春日井市歯科医師会、医師会共催で歯周病糖尿病連携講演会を開催、連携の拡充を図る。 ○三師会合同でポスターを作成・掲示できるとよい。 ○市では、特定健診と歯周疾患検診を繋げる取り組みを進めていきたい。	○医療連携は今後も長いスパンで継続していく。 ○市健康増進課と保険医療年金課で連携し、歯周病糖尿病対策を推進していく。
	小牧地区における糖尿病と歯周病に関する地域連携について	○医科歯科連携の現状の共有、今後の取り組みの検討 ○特定健診との連携を図るための検討をする	○小牧市医師会員対象の調査では糖尿病連携手帳の利用は少ない。認識する機会が大切。 ○特定健診問診票に歯の健康づくり得点を追加した。 ○市内地域別の歯周病糖尿病の実態を確認したい。	○健康小牧いきいきプラン歯の部会が中心となり、医療連携や職域への普及啓発を推進していく。 ○保険年金課と連携し、糖尿病と歯周病の実態を確認、関係者で共有していく。
江南	1. 特定健診結果を活かした個別歯科健診の受診勧奨等各市町の取組について 2. 糖尿病患者の合併症管理をするための医科歯科医療連携について	○糖尿病重症化予防対策推進のため各市町の糖尿病関連の歯科事業の現状と課題について報告、改善に向けた意見交換 ○歯科医師会が会員対象にアンケートを行った結果を報告、連携体制に関わる役割分担について意見交換	○特定健診結果を活かした個別歯科健診を実施してきたが対象者の見直しが必要。 ○会員の中で温度差がある。 ○患者は歯周病よりも腎臓、眼科の関心が強い。スタッフが意識を持つ必要あり。 ○江南厚生病院内科と口腔外科の紹介をシステム化し口腔外科との連携から考えたい。	○県リーフレットの活用し、引き続き、糖尿病重症化予防、合併症管理のために医科歯科連携の強化を図っていく。
清須	1. 糖尿病合併症である歯周病管理における医科歯科医療連携推進について 2. 管内各市町における糖尿病の合併症管理としての歯周病対策の取組について	○医師会員対象とした糖尿病の合併症管理に関するアンケート調査結果では、糖尿病患者に歯科受診勧奨をしているは40.7%、「糖尿病連携手帳を配布している」は33.3%、歯科医師会では25.5%。	○糖尿病連携手帳は、記載が複雑。手帳の内容が簡素化されればよいと思う。 ○糖尿病連携手帳は糖尿病の状況がわかる手帳であり使い側の数量となる。症状が詳しく記載されていれば価値のあるもの。	○医科歯科医療連携の進捗状況の把握のため、医師会及び歯科医師会で継続してアンケート調査を実施する。 ○糖尿病連携手帳により、診療情報を共有することは医科歯科連携に有用であるため、医師会及び歯科医師会で活用を勧める。
津島	1. これからの歯周病対策について 2. 地域における歯周病対策の取り組みと工夫 3. 実行できる歯周病対策を考える	○「40歳・60歳で歯周炎を有する者の割合の減少」の達成を目指し、効果的な歯周病対策について意見交換。 ○特定健診・保健指導を担う保健師等の出席も得て、広く成人保健対策と捉えた事業推進と具体的な施策展開に繋ぐきっかけとする。	○既存事業ではアプローチが不可能な対象への働きかけの工夫が必要。 ○学校保健以降も切れ間なく健診機会を設けて受診することを習慣化させることも要検討。 ○本来伝えたい人に情報が届いていない。様々な連携でカバーしていくことが必要。	○原点に立ち却って、本当のことを住民に伝えることができるかを今一度検証する。その視点で行政と歯科医師会が役割分担し、環境整備を図る方法を再検討していく必要がある。
半田	1. 歯周病(糖尿病合併症)管理の医科歯科連携について 2. 特定保健指導における歯周病対策の取り組みについて	○平成21年度から5年間の関係機関の実績の確認、糖尿病合併症管理の医科歯科連携の課題を共有し、問題点解決の方策を探る。 ○特定健診、特定保健指導を活用した、各市町の現状、課題の共有、住民への周知方法等を検討。	○半田病院からの逆紹介に対して歯科診療所からの返信率が低い。 ○半田病院からの逆紹介に対しなぜ返信しないのか理由を把握し、対策を考える必要がある。	○各関係機関が可能な範囲で、医科と歯科の医療連携による歯周病管理を引き続き行い管理をする。 ○特定保健指導について保健所から提供できる情報等あれば対応していく。
知多	1. 情報提供「知多厚生病院での歯周病と糖尿病の医科歯科の医療連携の取り組みについて」 2. 常滑地区での歯周病と糖尿病の医科歯科医療連携の推進について	○常滑市における糖尿病の合併症管理を目指した医科と歯科の医療連携について ○病院、医師会、歯科医師会の関係者で連携について意見交換	○病院の教室等に患者をつなげ連携していくのがやりやすい。 ○連携手帳の普及率はいまひとつ。 ○リーフレットは外夹で配布し、ポスターも掲示する。	○常滑地区の診療所、歯科診療所、常滑市民病院で医療連携を進めていくことで関係者の合意
衣浦東部	地域における歯周病対策について 1. 地域の歯周病及び糖尿病の現状について 2. 歯周病と糖尿病の医科歯科連携について 3. 今後の具体的な取り組みについて	○地域での医科歯科連携体制整備をすすめるための関係機関の役割について ○薬局で「歯周病と糖尿病の関係」について、情報発信するために必要なこと	○糖尿病の患者さんに薬局で歯科受診勧奨を勧めることは難しいことではない。 ○薬局に糖尿病の患者さんが来たら、歯科健診、歯周病のことを伝えたい。 ○さまざまな場面で歯周病管理について患者さんに情報提供できると、動機付けとなり歯科受診や内科受診へとつながる。	○薬剤師会の会員を対象に歯周病と糖尿病に関する勉強会を開催する。 ○薬局での投薬時に糖尿病の合併症管理としての歯周病管理について情報提供することの協力依頼が得られた。 ○県作成リーフレットの薬局での活用について協力が得られた。
西尾	糖尿病患者の合併症管理にかかる医科歯科医療連携をすすめるために	○歯科医療従事者による糖尿病患者への指導が円滑行われるよう、ミニシンポジウム形式で三師会の代表者から発言を得る。	○歯科の外科的処置時DMのデータを把握する必要がある。 ○医師から患者への周知をすすめられたい。 ○医師側は歯科の知識が不十分。 ○PとDMの関連について研修し、認識がすすんでいくことが大事。	○歯周病の理解が進むよう医師会を通じた勉強会を検討する。 ○ポスター、リーフレットを利用した患者への周知を継続する。
	1. 愛知県歯科口腔保健基本計画と市町健康増進計画の成人期以降の指標について 2. 定期的に歯科検診受診することのメリットと地域の健康増進 3. 歯周疾患検診・定期的歯科検診を受ける人の増加を目指して	○県基本計画の課題の一つである「定期的に歯科検診を受ける人の増加」について、学識者から、定期的に歯科受診することのメリットと必要性の助言を得ながら、住民代表を交えた関係者間で協議を行い計画の関連指標の達成をめざす。	○かかりつけ歯科医のスキルアップが大切。 ○歯周病と全身疾患の関係にかかる住民の知識は十分ではない。 ○妊産婦歯科健診について産科医療機関へ周知協力を進める。 ○節目検診と歯科医療機関での定期的継続的な受診のシステムを考える。 ○Eヘルスネット動画サイト等の利用。	○市町実施の節目健診とかかりつけ歯科による定期的歯科健診が連動したシステムづくりをすすめていく。 ○画像等の啓発用媒体を効果的活用する。 ○妊産婦歯科健診について、リーフレット、ポスター掲示、産科と連携し受診率の向上を図る。 ○1,6歳、3歳健診、メタボ健診事業等の機会の活用を検討する。
新城	1. 地域・職域連携推進協議会の進捗状況と今後について 2. 成人歯科保健事業の取り組みについて	○管内事業所の健康づくりのアプローチの現状と問題点の検討。 ○管内の歯周病対策の現状や課題を共有し、それぞれの立場で取り組む歯周病対策の方法、協力できることについて検討。	○行動変容が難しい。 ○医療費削減のためにも事業所の健診項目に歯科まで入れて欲しい。 ○歯周病対策における医科歯科連携はあまり進みがみられない。 ○町の住民健診に併せて糖尿病の疑いがあれば歯科受診につなげる指導をしている。	○喫煙対策について、市町村の希望に応じた形態で保健所も支援していく。 ○リーフレットやポスター等の歯周病対策用媒体を各関係機関で活用していく。 ○市民病院の出前講座も活用して欲しい。
豊川	糖尿病の合併症としての歯周病対策の推進について～医科・歯科・薬局における歯周病対策と糖尿病対策の連携から～	○蒲郡市において、健康づくり新計画を策定する中で、糖尿病、メタボが課題で重点的に取り組んでいる。糖尿病の重症化、合併症予防としての歯周病対策の視点での取り組みを検討。	○蒲郡市の糖尿病の実態が認識できた。様々な機関が連携して取り組む必要がある。 ○医科歯科連携を図ることで、健康意識の低い人にも糖尿病連携手帳を渡し啓発できる。 ○糖尿病を診ている医科から歯科へ発信することがまずは重要。 ○医療機関の医師にいかん啓発していくかがポイント。	○医師会の中でリーフレットを付けて糖尿病連携手帳を必ず配布する等、周知徹底し、体制づくりを進めていく。 ○保健センターで医科歯科連携関係ポスターを作成、診療所に配布し掲示を依頼していく。